

## 鎌倉時代を知るための必携資料集！

金沢北条氏に関連する資料1050点を収集し編年で配列  
金沢文庫古文書は、年代比定や接続関係など最新成果を反映！

か ね さ わ ほ う じ ょ う し

# 金沢北条氏 編年資料集

2013年3月25日刊行 ISBN978-4-8406-2070-3 C3021 ¥20000E

A5判・上製・函入・696頁+口絵8頁 定価21,000円（本体20,000円+税5%）

永井 晋・角田朋彦・野村朋弘 編

- 建保2年(1214)から延文4年(1359)までの、金沢北条氏に関連する古文書・記録類を収集し、編年で収録。初公開を含む資料1050点収録。
- なかでも、鎌倉時代を知る上で重要な「金沢文庫古文書」を多数収録。接続関係や年代比定など、最新の原本調査を反映。
- 各資料には校訂注（人名・地名など）、資料解説を付す。
- 付録として関連系図、公的文書の発給一覧、各種系図・表、年表、解説および索引（人名、地名、典籍・聖教名）を付す。

### 【目次】

口 絵（モノクロ8頁）	公的文書の発給一覧
資料集本文	（実時・顕時・貞顕・貞将）
解 説（永井 晋）	金沢北条氏関係年表
系 図	索 引
表	（人名、地名、典籍、聖教名）

八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8

Tel:03-3291-2961 / Fax:03-3291-6300 pub@books-yagi.co.jp <http://www.books-yagi.co.jp>

【資料本文の特長】

- ①徹底した校訂による精確な翻刻。
- ②初公開を含む資料 1050 点を収録。
- ③年代比定や接続関係など、最新の調査結果を反映。
- ④本文の人名・地名を比定した傍註。
- ⑤資料を読み解く上で参考となる解説。

延慶元年

〔解説〕  
金沢貞顕が六波羅探題を勤めていた時期の書状。金沢家の被官向山敦利の名前がみえる。「華嚴探玄記洞幽抄」は徳治三年二月二十二日の奥書を持つので、仮に徳治三年二月に取める。佐藤進一「凝然自筆仏書の紙背文書抄」(『中央史学』二五号)に翻刻。

391 氏名未詳書状

(東大寺図書館所蔵「華嚴探玄記洞幽抄」巻五二紙背文書)

悦便宜令申候、三月二日丹波房下向時、進懸状候、定参着候覧、其時、向山刑部左衛門殿へ、用途志貫五百文替進候て、彼受取并武松給主代六郎三郎殿方への御文を取て進候き、又福角道教房之子消大夫殿之替銭三百文夏帳之料、又前々志貫ハ貴房直節之料正月廿六日より至五月五日、已上旨日文、又五百文ハ光遊房之

392 金沢貞顕書状 (倉栖兼雄筆)

〔解説〕  
①四九/四一八 銀阿本「大御堂御忌日後朝導師次 九月廿八日」②四五/四五〇(上) 銀阿本「公家礼儀御経巻御次第次第断儀」(下) 銀阿本「大御堂御忌日略講御次第 九月廿七日」

① 凡非言語之 [ ] 候之条、皆御存  
 悲歎之至、絶當 [ ] 御心中併察 [ ]  
 雖無力候、夢 [ ] 傷為之如何、仍 [ ]  
 細難尽状候、恐 [ ]  
 三月 [ ]  
 (銀阿本)  
 明忍御房 [ ]

〔解説〕  
② 逐申、  
 長井貞秀の卒去を聞いて衝撃を受けたことを伝えるとともに、関係者の悲歎を気遣う書状である。長井貞秀の卒去は、三回忌諷誦文などから徳治三年三月十二日とわかる。鎌倉からの使者の移動時間を考えれば、三月十五日以後とみてよい。【神】①未収+②一七二五、【鎌】①未収+②一三五五三。

249

録。268号資料は「寿福寺語録」に含まれるので、正念が建長寺から寿福寺に移った弘安元年から示寂する正応二年の間のものになる。北条頼時の没年にかけてここに収める。268・269号資料ともに「大日本仏教全書」。

乾元元年 (正安四年、一三〇二)

270 金沢貞顕書状 (倉栖兼雄筆)

①一〇二/四三七 銀阿本「薄草子口決」巻十六  
 ②四〇/三七七 銀阿本「薄草子口決」巻十五

① 先日属明忍御房、南殿御方源氏初十帖令申、出候き、而明忍御房、御他行候敷之間、進御、刃候、可令返進給候乎、彼次十帖、付此使可令申出之由思給候、同披「露候者、本意候也、恐々」謹言、

〔本巻〕  
 貞顕 (花押)  
 (正安四年) 卯月三日  
 (箱懸) 戒円御房  
 (上巻) 戒円御房  
 (切封墨引)

271 金沢貞顕書状 (倉栖兼雄筆)

(一〇三/四三八 銀阿本「薄草子口決」巻十九)

〔解説〕  
 北条実時所持本の源氏物語を南殿が継承しているとい  
 無御披露内々、可令申給候、  
 故越後守殿所持源氏物語為披校候、可借賜之由自武州被仰候、彼本南殿御方候也、自是申候とて始十帖暫可令申出給候敷、念令申出給候て、付此使

177

【最新調査を反映】

- ・『鎌倉遺文』『神奈川県史』での翻刻有無を明示。
- ・文書の接続関係を復元。
- ・年代も比定し編年で配列。